

# ふくしま

# 再生 短信

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)  
2022/10/22~23 栃木県立大田原高校 飯館村実地研修同行記

## 学びのさらに向こうへ

2022年10月22、23の両日、栃木県立大田原高等学校の飯館村実地研修が行われた。今年では四回目の研修、SSC自然科学班10名に加え、SSC天文班8名、課題研究班と有志11名、総勢29名の生徒が参加。引率の先生方は植木淳校長、加藤信行教諭、藤原和人教諭、稲本綾教諭、東海林雅也講師のみなさん。



4

高橋さん、



5



6



7



8



9



10



12



(文責・撮影 若林一平)

正二さん、佐野隆章さんが担当。今回は朝から東日本大震災・原子力災害伝承館を見学の後飯館村入り。午後4時コメリ跡地に展開する『図図倉庫(スツトソーコ)』に到着。田尾陽一さん(ふくしま再生の会理事長)から開会・歓迎の挨拶(写真1)、図図倉庫を運営する飯館村地域プロデュース会社・マーブリング共同代表・矢野淳さんから「実験秘密基地・図図倉庫誕生」のプレゼン(写真2)、続いて高橋正二さんによる霧箱を使った粒子線観察と講義、粒子線の動きに驚嘆(写真3)。



1



2



13

て川俣町合宿所(とれんぴあ)へ移動。夜間研修は恒例の「ドロえもんクイズ大会」(写真4)、溝口先輩から近未来の科学者たちへ「真実は変わりゆくもの、誰もやらない事をやろう」(写真5)。

翌23日、佐須現地で4班に分かれて体験学習の取り組み。①溝口班は除染土埋設田圃の放射線測定(写真6)、②佐野班は最大放射線量探索ゲーム(写真7)、③高橋班

(写真8)、④小原班は堆肥製造実習(写真9)。昼食は持参したカレーとお米を風と土の家で炊き上げて美味を堪能。午後2時、菅野宗夫さんの田圃で振り返りの全員集会。冒頭に花仙人こと大久保金一さんの「いきいき長寿県民賞」受賞の報告あり。金一さん「一本の稲穂に百の花が咲き百粒のお米になります」(写真10)。参加生徒「多くの体験を家族にも伝え広めたい」。大先輩・松田さん「がんばる人を応援したい」(写真11)。宗夫さん「農業の魅力知ってください」(写真12)。田尾さん「原爆作る人間にならないで」。シメは全員で未来へのエール！(写真13)。